

健康ウオツチング

東陽病院 院長 伊藤 文憲

住民検診について(Ⅱ)

今回は今年度に行われている住民検診についてのお話です。早くに受診された方には結果が届いていると思います。検診車が来て一斉に検査が行われました。住民基本健康診査に加えて胃癌検診、大腸癌検診、子宮癌検診、肺癌検診、乳ガン検診が行われました。前立腺癌検診も始まりそうです。

昨年1月号にも同じ題名で原稿を書きました。しかし、保健師さんと話してみると基本検診の受診率が低いことに加えて、要精密検査の場合の受診率も低いと聞いています。一次検診により何らかの異常が疑われる場合には必ず精密検査を受診しましょう。基本健康診査や各種の癌検診が行われました。改めてその結果を思い出して下さい。何も問題のない人は結構ですが、殆どの方は何らかの異常が指摘されていると思います。

す。以前に勤務していた船橋の病院付属の健診センターでは異常なしは50%でした。この施設は政府管掌保険の対象者が多く、年齢も40才台が中心です。町の健診では年齢から考えても正常の方は更になくはないと思われず。

検診結果で体重が多い、血圧が少し高い、コレステロールが少し高い、血糖値が少し高い場合などでは日常生活の改善や飲酒、喫煙の習慣などを改めるだけで翌年の検診まで待てると思います。血圧の高い方は、再検査をして下さい。わざわざ病院に来なくても保健センターなどで自己血圧測定が出来ます。ただし、センターに着いてから15分以上してから血圧測定をして下さい。急いで測定すると高くなる傾向があります。頭が痛い、胸が苦しい、なにか変だという症状を伴うときには至急病院を受診して下さい。糖尿病・高脂血症・痛風などを指摘された場合には、朝食

を食べないで受診して下さい。これらの検査の値は食事の摂取により変動が激しく、正確な情報が得られません。癌の検診では疑い例は精密検査を行い結果をはっきりとしなくてはなりません。大腸の検診として便の中の血液をチエックした時に陽性反応が出る場合があります。痔を含めて何らかの出血が大腸内部で起きているわけですから、精密検査が必要です。

胃潰瘍等が治癒した場合に胃X線検査では変形ありと診断されます。このような場合には直接胃内視鏡検査をしましょう。早期胃癌の発見には胃内視鏡検査が優れています。最近話題になってくる検診に乳ガン検診があります。従来の触診では限界があるので現在では年齢により超音波検査やX線検査による健診が行われるようになりました。

前立腺癌の検診は一回の採血で腫瘍マーカーを検査して判定が可能になっていきます。異常値の出た場合には精密検査が必要です。くれぐれも検診は自分のためであることを忘れなく。*

※8月の総合相談は、16日(火)午前9時~12時です。
東陽病院 ☎84-1335

犬・猫飼育者のみなさんへ

捨てられたり、放し飼いにしたため引き取られる犬・猫が年間約1万8千頭もおり、このうち75%以上が子犬・子猫です。

このような不幸な子犬・子猫をなくすため不妊・去勢手術に対して助成事業を実施します。

○助成金額 手術費用のうち5,000円

○応募期間 9月20日~9月26日(当日消印のあるもの)

○手術実施期間 利用券を交付後、平成17年12月26日まで

○対象動物 飼い犬・飼い猫のうち、手術が可能なものでオス・メスともに対象とする

飼い犬の場合、平成17年度狂犬病予防注射済で、登録されているもの

【注】何らかの理由により手術に適應できない場合は、お断りすることもありますので、応募前に動物病院と

ご相談下さい。

○応募方法 申込書は往復はがき(官製)で、(社)千葉県獣医師会まで応募して下さい。

※申込書の書式については、左記までお問い合わせ下さい。

◇応募・記入上の注意点

・応募期間の消印をもって有効とします。
・1世帯当り1頭(1通)の応募とします。

・手術する病院は、(社)千葉県獣医師会員の動物病院です。

・応募数過多の場合は、抽選となります。

・当選は、10月中旬頃通知します。

○問い合わせ先

・社団法人千葉県獣医師会
〒260-0001 千葉市中央区都町463-3

☎043-232-6980

・財団法人千葉県動物保護管理協会
☎043-214-7814

